

2025年10月1日

～持続可能な食品物流の構築に向けて、研究会参加企業と研究・検討へ～

「SM 物流研究会」・「首都圏 SM 物流研究会」 の新規参加について

株式会社とりせん（本社：群馬県館林市/代表取締役社長 前原宏之）は、2025 年 9 月 17 日より「SM 物流研究会」、「首都圏 SM 物流研究会」に参加することになりました。

これまで『2024 年問題』をはじめとした物流課題について、当社でも独自で検討、取り組みを進めてまいりましたが、これを機に、研究会参加企業と協力して『持続可能な食品物流の構築』に向けて邁進したいと考えております。また、首都圏のスーパーマーケットと協力して、当社だけでは取り組めない物流課題の解決を目指します。

■「SM 物流研究会」の概要

1. 目的

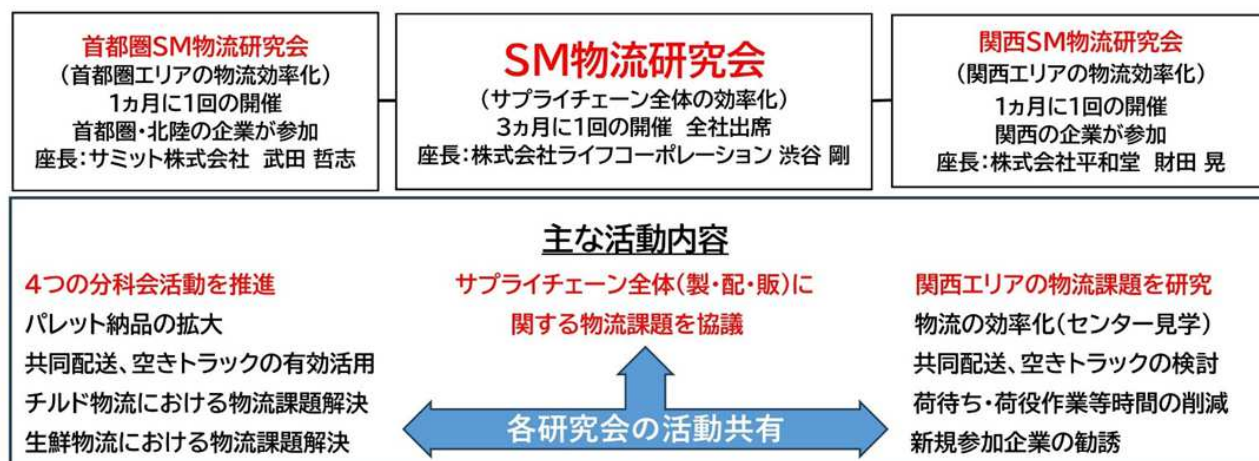
『2024 年問題』をはじめとする物流危機を回避し、地域の生活を支える社会インフラとしての責務を継続して果たすため、物流分野を各企業間の「競争領域」ではなく「協力領域」と捉えて、各社の協力による物流効率化策を研究・検討する。

2. 参加企業

サミット株式会社、株式会社マルエツ、株式会社ヤオコー、株式会社ライフコーポレーション、株式会社カスミ、株式会社西友、株式会社いなげや、株式会社東急ストア、株式会社原信、株式会社ナルス、株式会社平和堂、株式会社エコス、株式会社たいらや、株式会社マスダ、株式会社与野フードセンター、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ベイシア、株式会社オークワ、株式会社万代、株式会社マルアイ、株式会社京成ストア、株式会社ウオロク、株式会社とりせん

参加企業計 23 社

3. 組織体系



以上